

平成25年度 子ども・子育て支援に関するニーズ調査 調査結果概要編

調査の概要

- (1) 調査実施方法：郵送配布回収、無記名自記式
- (2) 調査時期：平成25年9月～10月
- (3) 調査地域：広島市全域
- (4) 調査対象者：広島市内に居住する就学前児童(0～5歳)及び就学児童(6～11歳)のいる世帯
- (5) 抽出方法：住民基本台帳より、居住区及び平成25年4月1日現在の満年齢別に区分し無作為抽出
- (6) 標本数：就学前児童:8,000世帯 就学児童:5,500世帯
- (7) 送付数及び回収数

◆就学前児童

対象となる 子どもの年齢	送付数	回収数	回収率
0	2,500	1,144	45.8%
1	1,350	626	46.4%
2	1,350	619	45.9%
3	931	418	44.9%
4	965	404	41.9%
5	904	384	42.5%
不明		18	
就学前児童 計	8,000	3,613	45.2%

◆就学児童

対象となる 子どもの年齢	送付数	回収数	回収率
6	1,307	579	44.3%
7	1,353	605	44.7%
8	1,340	583	43.5%
9	502	244	48.6%
10	511	235	46.0%
11	487	230	47.2%
不明		12	
就学児童 計	5,500	2,488	45.2%
全体	13,500	6,101	45.2%

平成25年12月
広島市こども未来局

調査結果の概要

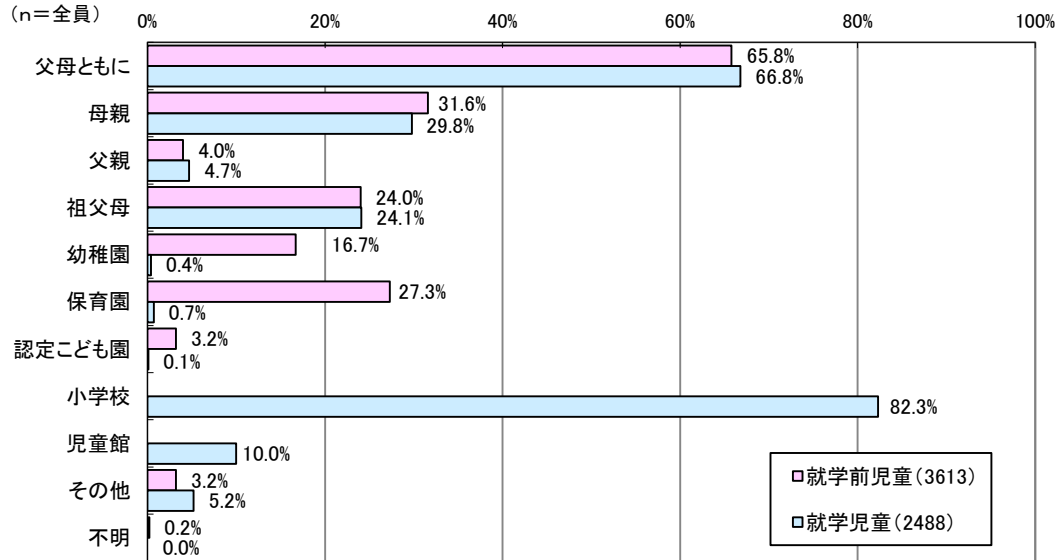
注1) 就学前児童について保護者が回答した結果は「就学前児童」、就学児童について保護者が回答した結果は「就学児童」と表記しています。

注2) 比率(%)は小数点以下第2位を四捨五入で算出しているため、合計が100%にならないこともあります。

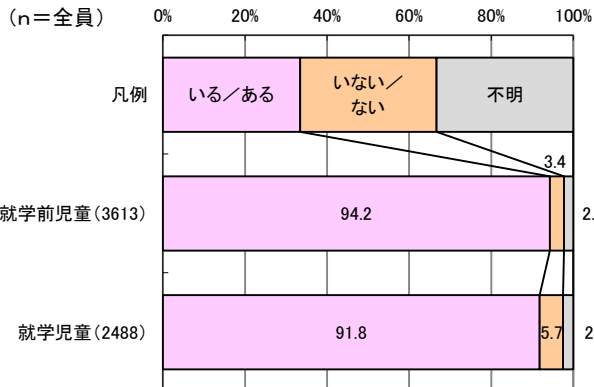
I. 子どもの育ちをめぐる環境

就学前児童、就学児童ともに保護者の90%以上が子育てをする上で気軽に相談できる人（場所）がいる（ある）と回答しており、相談先は「祖父母等の親族」、「友人や知人」が多くなっています。なお、就学前児童の3.4%、就学児童の5.7%が気軽に相談できる人（場所）がない（ない）と回答しています。

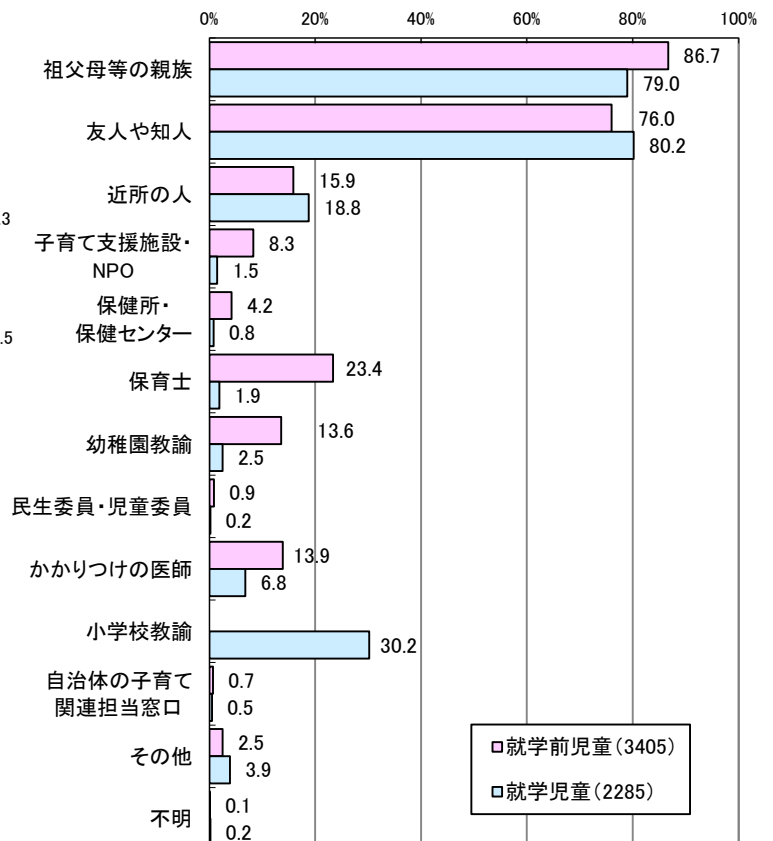
Q 子育てに日常的に関わっているのはどなた(どの施設)ですか。(複数回答)



Q 子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。



Q 子育てに関して、気軽に相談できる先は、どなた(どこ)ですか。(複数回答)(n=相談相手がいる人)

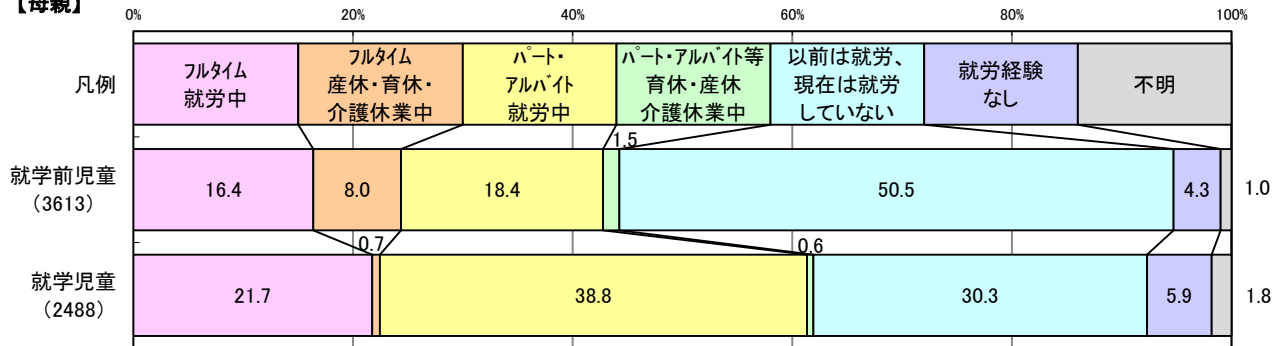


Ⅱ.保護者の就労状況

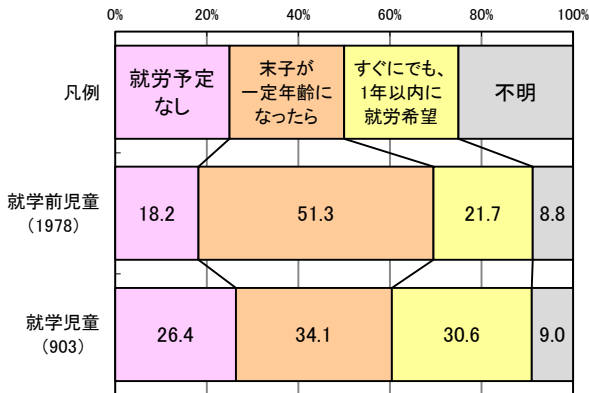
就学前児童の母親の44.3%、就学児童の母親の61.8%が、フルタイム又はパートタイム等で就労中であると回答しています。また、現在就労していない就学前児童の母親の73.0%、就学児童の母親の64.7%が将来的に就労したいと回答しています。

Q 保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者を含む)についてお伺いします。(n=全員)

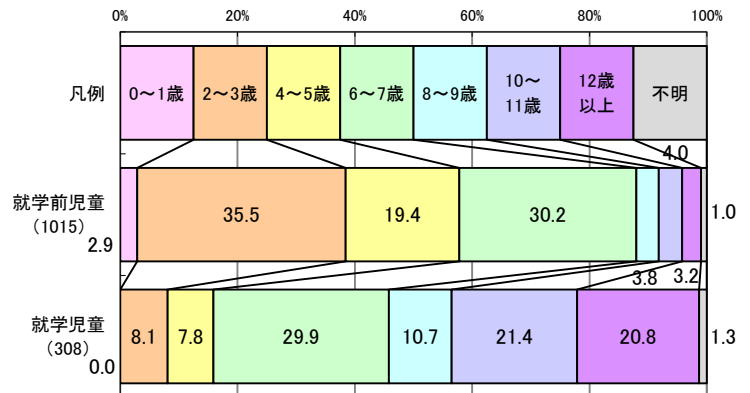
【母親】



Q 就労したいという希望はありますか。(n=母親が現在就労していない人)



Q 一番下の子どもが何歳になったら就労したいですか。(n=末子が一定年齢になったら就労したいと思う人)

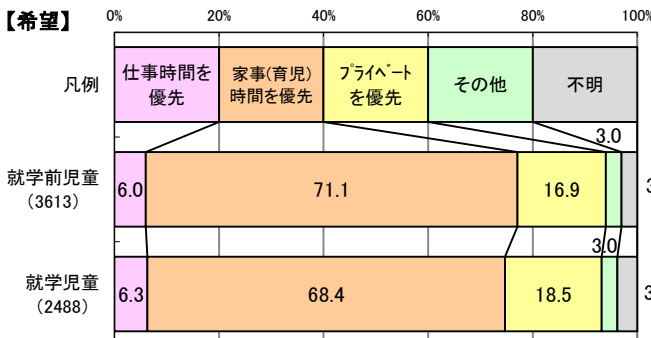


Ⅲ.ワーク・ライフ・バランス

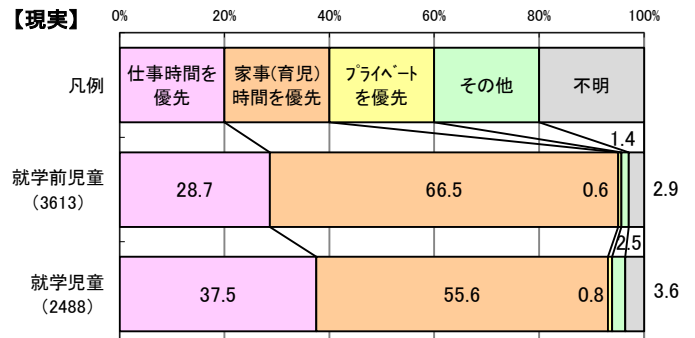
生活の中での「仕事時間」、「家事(育児)時間」、「プライベート」の優先度について、希望、現実ともに、多くの人々が「家事(育児)時間を優先」と回答しています。また、希望では、就学前児童の保護者の16.9%、就学児童の保護者の18.5%が「プライベートを優先」と回答していますが、現実で「プライベートを優先」とした回答した人は1%未満となっています。

Q あなたの生活の中での「仕事時間」、「家事(育児)」、「プライベート」の生活時間の優先度について、「希望」と「現実」それぞれお答えください。(n=全員)

【希望】



【現実】



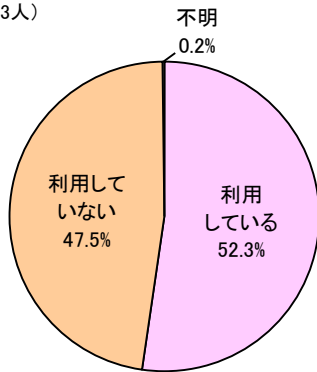
IV. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況（就学前児童のみ）

就学前児童の52.3%が、現在、定期的な教育・保育の事業を「利用している」と回答しています。

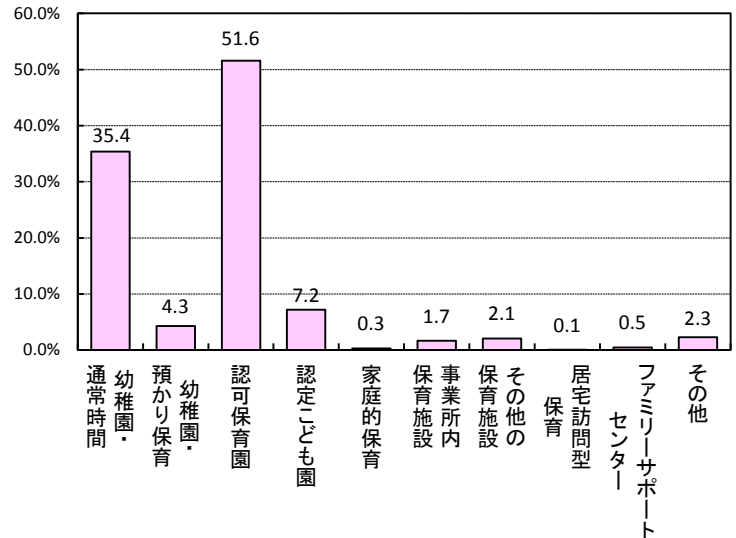
利用している事業としては、「認可保育園」が最も多く、次いで「幼稚園」が多くなっています。

また、現在の利用の有無に関わらず、利用したいと考える事業の第一希望として、「幼稚園」と回答した人の割合が最も多く、次いで「認可保育園」が多くなっています。

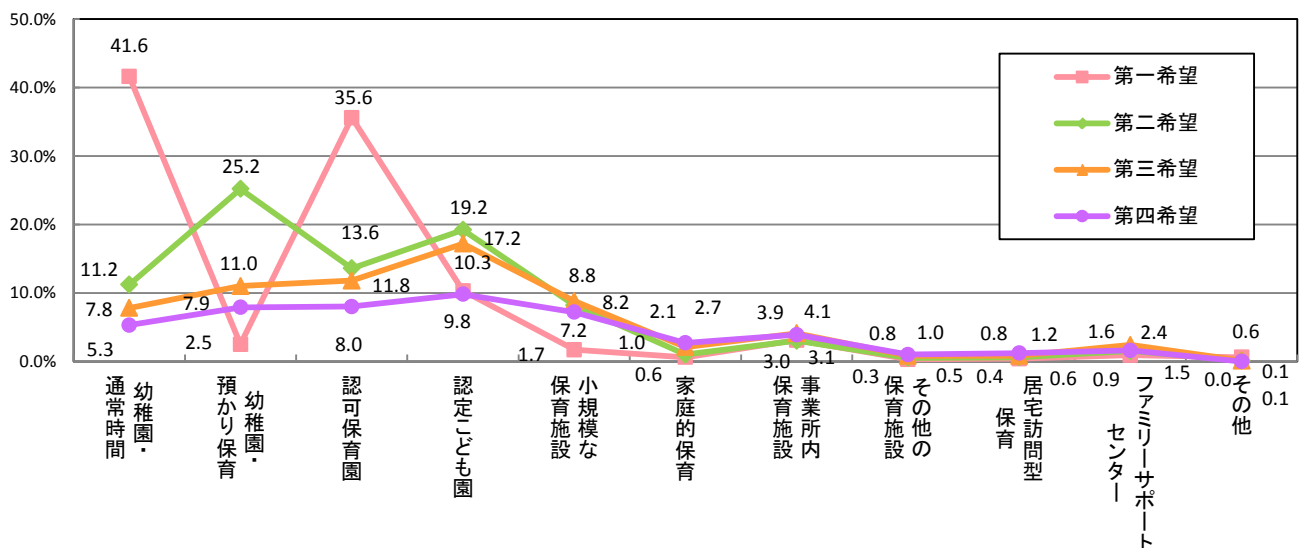
Q 現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用していますか。
(n=全員:3613人)



Q 平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。(複数回答)
(n=教育・保育事業利用者:1888人)



Q 現在、利用している、していないにかかわらず、定期的に利用したいと考える平日の教育・保育の事業について、利用したい順にお答えください。(複数回答)
(n=全員:3613人)

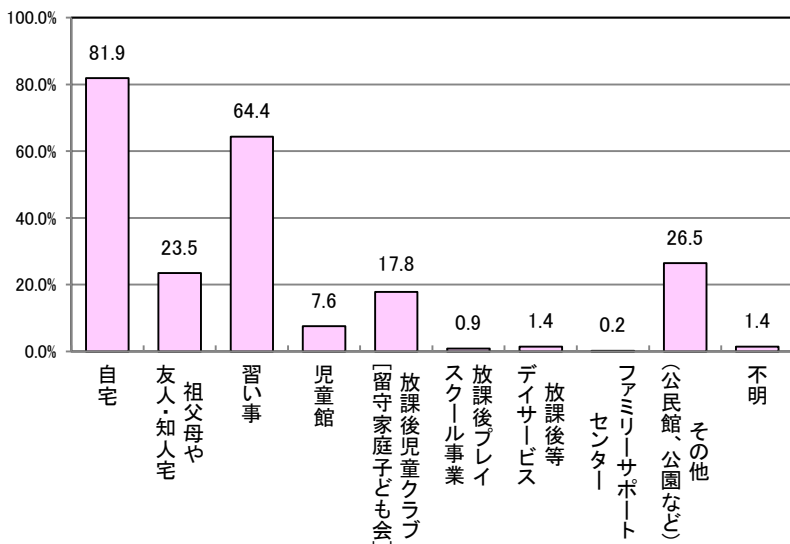


V.放課後の過ごし方（対象：就学児童低学年（一部就学前児童5歳以上を含む。））

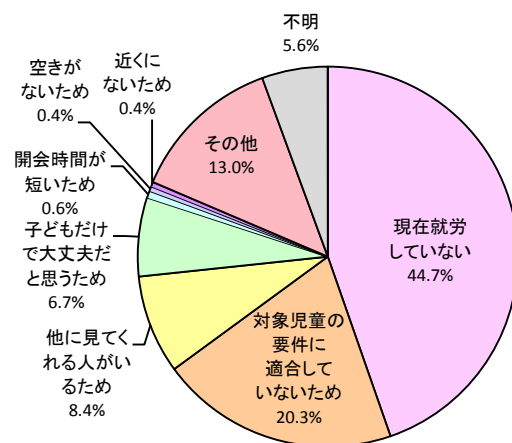
現在の放課後の居場所について、多くの人が「自宅」や「習い事」と回答しています。17.8%の人が「放課後児童クラブ（留守家庭子ども会）」と回答しています。

放課後児童クラブを利用していない理由としては、「現在就労していない」、「対象児童の要件に適合していない」が多くなっています。また、高学年になったときの放課後の居場所としては、「自宅」や「習い事」を希望する人が多く、「放課後児童クラブ」と回答した人は、就学前児童（5歳児）で11.9%、就学児童で17.4%となっています。

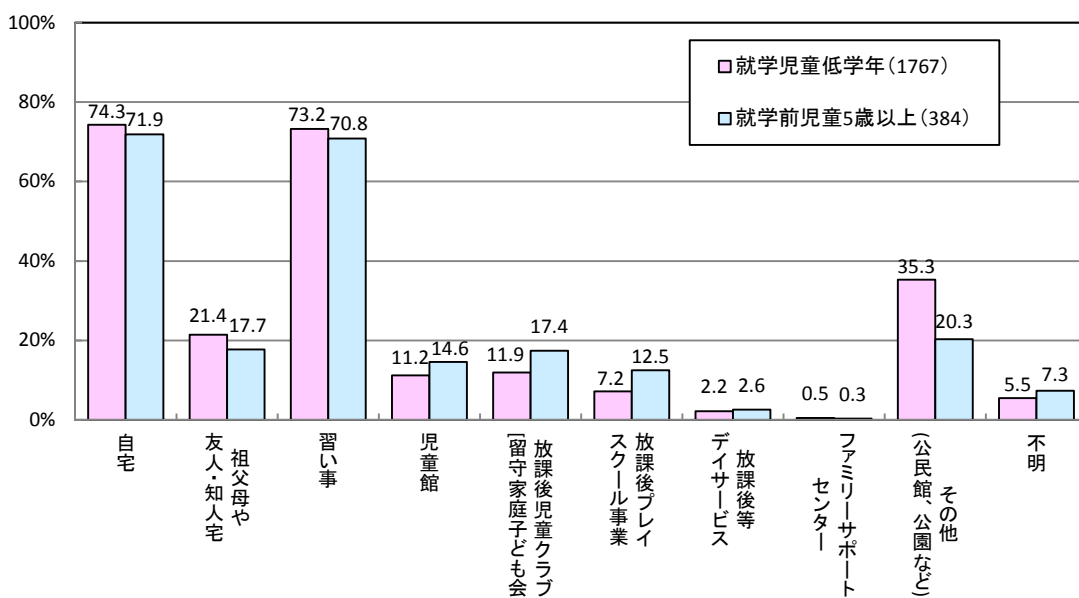
Q 現在、放課後の時間をどのような場所で過ごしていますか。（複数回答）
（n=就学児童低学年：1767人）



Q 現在、放課後児童クラブを利用していない理由について、もっともあてはまる理由はなんですか。
（n=非利用者1427人）



Q 高学年になったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。（複数回答）
（n=就学児童低学年、就学前児童5歳以上）

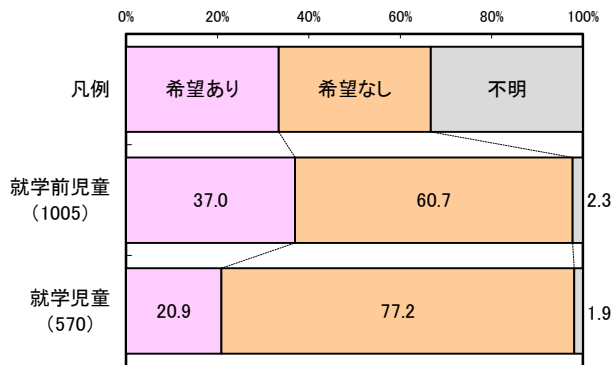


VI.病児・病後児保育（対象：就学前児童（平日の教育・保育事業利用者）、就学児童低学年）

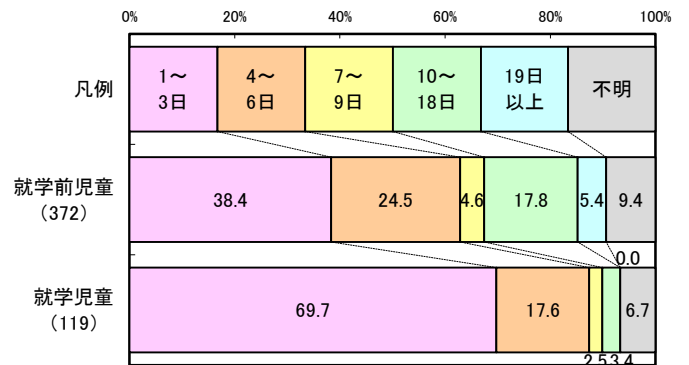
子どもが病気やケガの際に父親または母親が休んで見た人のうち、就学前児童の37.0%、就学児童の20.9%が「できれば病児・病後児保育を利用したい」と回答しています。

また、病児・病後児保育を利用したい日数（年間）については、就学前児童では「4日以上」を希望する割合が就学児童に比べて多くなっています。

Q 子どもが病気やケガの際、父親または母親が休んで見た人で、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思ったことはありますか。
(n=父親または母親が休んで見た人)



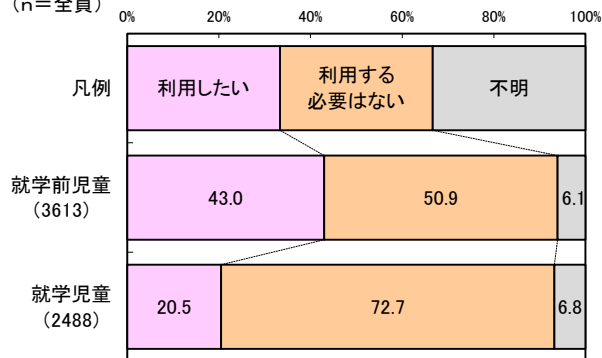
■病児・病後児保育施設を利用したい日数(年間)
(n=父親または母親が休んで見た人で、病児・病後児保育施設等の利用希望者)



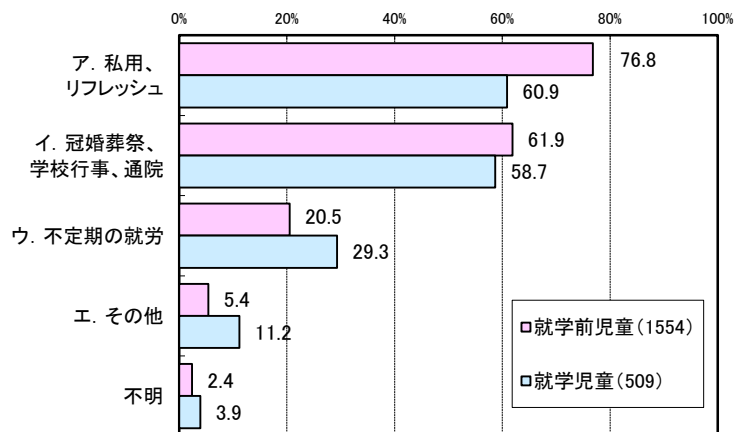
VII.一時預かり

就学前児童の保護者の43.0%、就学児童の保護者の20.5%が私用等の目的で、不定期の教育・保育事業を「利用したい」と回答しています。利用したい理由については、「私用、リフレッシュ」と回答した人が最も多くなっています。

Q 私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、一時預かり等の事業を利用したいと思いませんか。
(n=全員)



Q 利用の目的は何ですか。(複数回答)
(n=利用希望者)

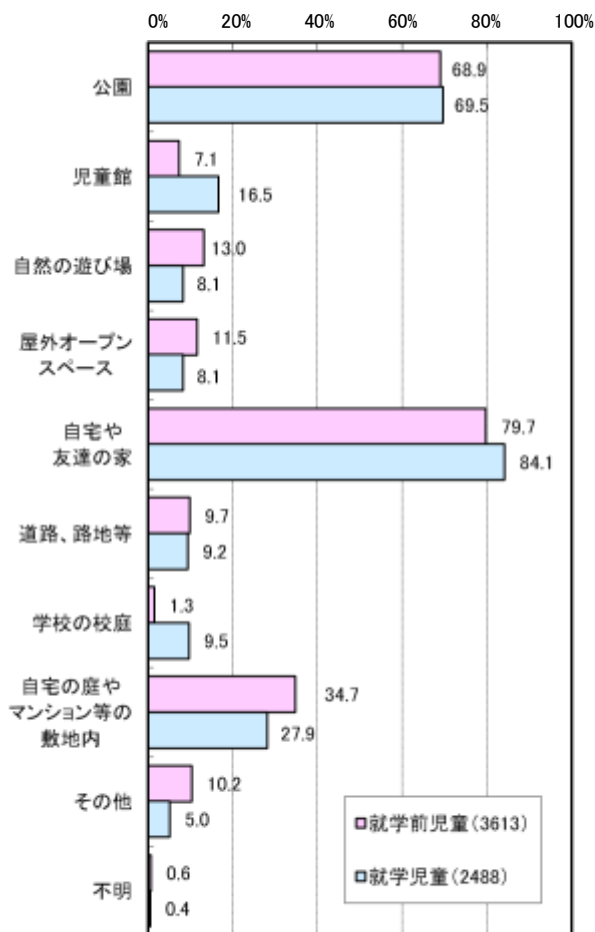


VIII. 子どもの遊び環境

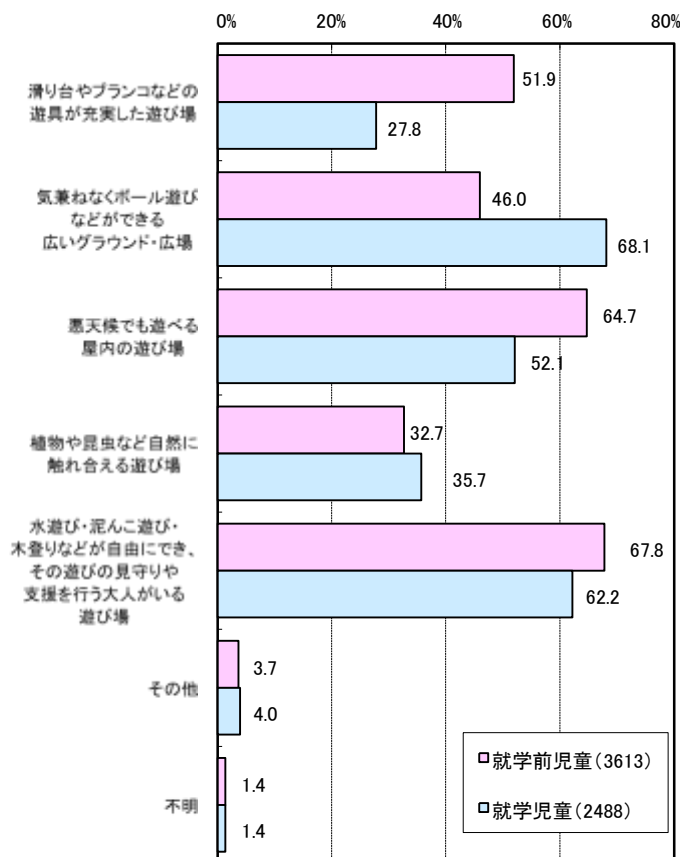
日常的な遊び場について、多くの方が「自宅や友達の家」や「公園」と回答しています。

また、「どんな遊び場があればいいかと思うか」という問いに対しては、就学前児童では「水遊び、泥んこ遊び、木登りなどが自由にでき、その遊びの見守りや支援を行う大人がいる遊び場」が、就学児童では「気兼ねなくボール遊びなどができる広いグラウンド、広場」がそれぞれ最も多くなっています。

Q 日常的な遊び場は主にどれですか。(複数回答)
(n=全員)



Q どんな遊び場があればいいと思いますか。(複数回答)
(n=全員)



IX. 地域子育て支援拠点事業

現在、0歳児の保護者の36.6%、1～2歳児の保護者の24.9%が常設オープンスペースを「利用している」と回答しています。また、今後の利用意向について、就学前児童の保護者の36.2%が「利用していないが、利用したい」または「すでに利用しているが利用回数を増やしたい」と回答しています。

Q 現在、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場(常設オープンスペース)を利用していますか。(n=全員)

	母数(n)	利用している (%)	利用していない (%)	不明 (%)
就学前児童・計	3613	21.5	77.9	0.6
0歳	1144	36.6	63.0	0.3
1～2歳	1245	24.9	74.5	0.6
3歳以上	1206	3.7	95.6	0.7
不明	18	16.7	77.8	5.6

Q 今は利用していないができれば利用したい、または、利用しているが利用回数を増やしたいと思いますか。(n=全員)

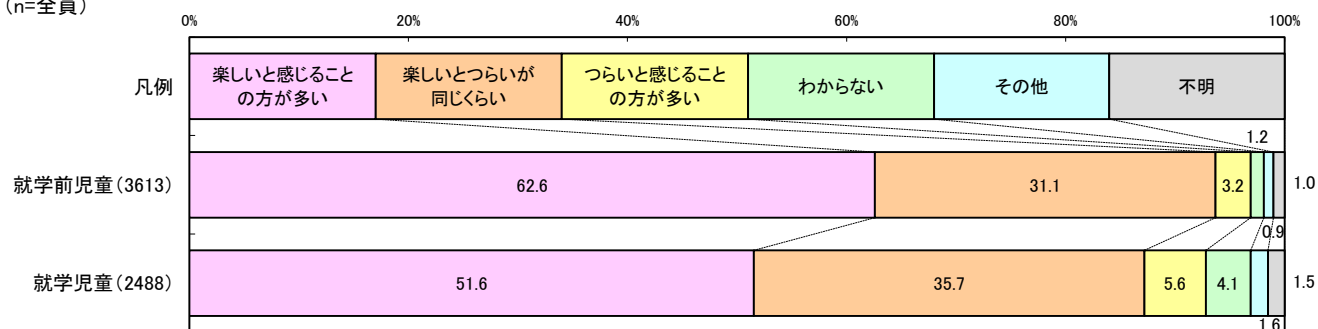
	母数(n)	利用していないが、利用したい (%)	すでに利用しているが利用回数を増やしたい (%)	は思わない、利用日数を増やしたいと新たに利用したり、利用日数を増やしたい (%)	不明 (%)
就学前児童・計	3613	26.6	9.6	44.1	19.7
0歳	1144	32.3	18.8	30.2	18.7
1～2歳	1245	27.1	9.8	43.4	19.8
3歳以上	1206	20.6	0.7	58.2	20.5
不明	18	27.8	0.0	38.9	33.3

X.子育てに関する悩みや不安感

子育てについて、半数以上が「楽しいと感じることの方が多い」と回答しています。一方で、就学前児童で3.2%、就学児童で5.6%の保護者が「つらいと感じることの方が多い」と回答しています。

子育ての精神的負担を減らすための必要な支援については、就学前児童、就学児童ともに「経済的支援」と回答した人が最も多くなっており、次いで、就学前児童では「親がリフレッシュするための支援」、就学児童では「配偶者・パートナーの育児参加のための労働環境整備」と回答した人が多くなっています。

Q 子育てを楽しんでいることが多いですか、つらいと感じることが多いですか。
(n=全員)



Q 子育ての精神的な負担を減らすために、どのような支援が必要ですか。(複数回答)(n=全員)

